



「新興国の原子力発電所の建設を誰が受注するかに注目が集まります。東芝や三菱重工、日立製作所そこに部品を供給する日本製鋼所や日本冶金工業が狙い目です」

環境問題が注目されることは、資源価格の高騰につながることも。「ガソリンエンジンより環境に優しいディーゼルエンジンでは、触媒としてプラチナを多く利用します。いずれはそのディーゼルエンジンもより環境に優しい燃料電池になる。一般自動車でも触媒に使うプラチナは1台あたり数グラムですが、燃料電池車は約100グラム。プラチナ価格は上昇しますよ」

プラチナの需要が増えれば、鉱山機械や建設機械で世界トップクラスの勢力を誇る日本のメーカーが脚光を浴びる可能性が高い。「原油価格は数年のうち、いや下

手をすれば数か月うちに150ドルを超えるかもしれませんし、金価格も1000ドル超えが見えてきた。小麦や大豆の価格も上がり、食品価格高騰が家計を圧迫する。いずれは、自給しなければ食事に事欠く時代が来る。農業ビジネスが脚光を浴び、例えば農業機械に力を入れ始めたホンダなどが注目される可能性があります」

高い技術力を持つ日本企業に注目が集まることは間違いなさそうけど、もう遅いってことはない？

「昨年までは環境問題のキャンペーン期間。環境銘柄が上昇を迎えるのは今年からが本番ですよ！」

15 日本で買える！ ロシア次期大統領が会長を 兼務するロシア企業とは?!

アメリカと同じく、今年にはロシアの大統領選挙も行われる。「プーチンがメドベージェフを指名したことでもう決まり。昨年、ロシア株は中国やインドと比べて上昇率が低かったんですが、それは選挙の結果がどうなるかを様子見していたから。昨年は踊り場、これからロシア株は買いじゃないですか」(深野さん)

プーチンが後継に指名したメドベージェフ次期大統領候補は、世界最大の天然ガス会社・ガスプロ

ムの会長も兼務。ロシア株式市場の時価総額の約25%を占めるというガスプロム株が上がるのでは!? 「ロシアは国策として資源の高値安定を目指すはずですから上がるでしょうね。大統領が上場企業の会長を兼務するのがいいか悪いかは別にして、プーチン路線をメド



これがロシア最大の企業・ガスプロムの本社。今後の株価に注目！

ベージェフが引き継ぐのはロシア経済にとってはいいこと」

今月からユナイテッドワールド証券が個別株サービスを開始するが、個別株とファンド、どちらで攻めるのが得策なのか。

「ガスプロムは時価総額が大きすぎてファンドに組み込む割合がロシア市場に占めるガスプロムの割合を反映できないこともある。ガスプロムが上がると思うなら個別株で勝負するのでもいい」

ただし、条件があるという。「やはり資源価格がこのまま高止まりするかどうか。資源価格が高ければ、ロシア経済が潤わないはずはない。三菱自動車のように、ロシアで儲けている日本のロシア関連企業にも注目ですね」

「そんなことで取引先に頭を下げるのは誰もやりたくないですよ。普段からそんな無理をお願いしていたら、価格交渉もろくにできず、会社にとってもいいことは何もなかったはずなのに、数字をつくることをやめられなかった企業は多いんです。でも今後同じような指示があればこれは大丈夫ですか？ 内部統制報告書でウソを書くと、我が社のトップが刑事罰を受ける可能性もあります。念のため法務部に確認してもいいですか」と言えは、上司も「やれ」とは言えなくなるはず。もし、それでも「やれ」と言われたら、内部通報制度などを活用するなどのルートもあります」

無駄な汚れ仕事をしなくてよくなることは……SOX法、恐るべし。

18 SOX法施行で 儲かるのは、ソフトウェア よりも倉庫会社!?

「システム構築が行われることから、クラウドやオービットなどのソフトウェア関連がSOX法関連銘柄とされています」(田嶋さん)

しかし、業績が伸びる可能性がある銘柄はほかにもあるという。「企業は社内さまざまな業務手続きを文書化して保存する必要があり、その書類を保管管理する日本通運や佐川急便などの運輸会社や三井倉庫、住友倉庫などの倉庫業界に追い風が吹いています。文書をデータベース化する作業もそれらの企業が請け負っているため、今後、業績が伸びる可能性は高いと思いますよ」



ドバイ株の第一人者、石田和靖さんのブログ。小誌サイトにて「海外投資スゴいヤツ列伝」(http://spalog.net/sugoi/) もスタート！

19 サブプライムショックで 注目を集めた中東に 世界の投資家が注目!

昨年11月、サブプライムショックに揺れていた世界の株式相場を救ったのは、シティアバンクに75億ドルの出資を申し出たアブダビ投資庁。さらに12月にはサウジアラビアやUAE、カタールなどがドルベッグ制を維持すると発表したことでドル相場下落が止まるなど、今、世界が注目している中東のオイルマネー。さらに今年12月にはドバイに世界一高い高層ビル「ブルジュ・ドバイ」が完成予定で、話題には事欠かない。

そんな中、ドバイの証券会社に口座を開き、ドバイ株やアブダビ株を売買する日本人が急増中。ドバイ株投資家のバイブル「ドバイ株投資完全マニュアル」(パンローリング刊)の著者・石田和靖さんは「今年、ドバイ株は上昇しますよ」と語る。

「昨年末、サウジアラビアやUAEはドルベッグ制維持を決めました。アメリカが利下げをする中、景気がよくてインフレ傾向の中東諸国がドルベッグ制を維持するのが解除するのは事実。ドルベッグをすぐに解除することはないと思いますが、早期に通貨を3~5%切り上げる可能性は高く、海外投資家にとっては魅力的です。さらに昨年は欧米で機関投資